

A区分・C区分共通

No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	合唱
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんざいだんほうじんがっしょうおんがくしんこうかい		
	一般財団法人合唱音楽振興会		
代表者職・氏名	代表理事 堤 剛		
制作団体所在地	〒 169-0051	最寄り駅(バス停)	早稲田(東京メトロ)
	東京都新宿区西早稲田2-3-18		
電話番号	03-6380-3350		
ふりがな 公演団体名	とうきょうこんせいがっしょうだん		
	東京混声合唱団		<a href="https://toukon1956.com/">https://toukon1956.com/</a>
代表者職・氏名	理事長 山田和樹		
公演団体所在地	〒 169-0051	最寄り駅(バス停)	早稲田(東京メトロ)
	東京都新宿区西早稲田2-3-18		
制作団体 設立年月	1981年		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:堤 剛/理事:池辺晋一郎・小林信一・(田中信昭)・藤本草・城満志(田中信昭は本年9月12日死去)評議員:浅野紀子・河野彰子・山田茂/監事:曾根研一		賛助・支持会員:200名
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	安藤 博
経理処理等の	右	経理担当者	曾根研一

監査担当の有無	有	任意提出	目録あり
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:ando@tokyo-concerts.co.jp">ando@tokyo-concerts.co.jp</a>		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>一般財団法人合唱音楽振興会 1981年4月東京混声合唱団(1956年設立)を中心として、我が国の職業合唱団ならびに合唱音楽の一層の振興のため、関係民間会社や東京混声合唱団メンバーの拠出金により、財団法人として設立。2012年一般財団法人に移行。 合唱音楽を主体とする音楽芸術の創造・普及を図ると共に、芸術文化の発展に寄与すべく各種事業を行っている。 【主な事業目的】 ・合唱音楽の公演開催 ・青少年に対する音楽普及啓蒙活動 ・合唱作品の作曲委嘱 ・その他</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>2023年度 長野市中学校音楽鑑賞会(5月8日~19日長野市立東部中学校他18校)／南山学園高等学校男子部文化鑑賞会(6月14日)／平塚市大住中学校鑑賞教室(10月19日)／飛騨市小中学校音楽会(10月20日)／東葛西西中学校音楽鑑賞教室 2021年度 目白研心中学校・高等学校音楽鑑賞会(11月4日)／立命館中学校・高等学校音楽鑑賞会(12月1日)／小平市立小平第五小学校「夢と希望のコンサート」(10月22日) 2020年度 桐朋学園高等学校音楽鑑賞会(10月14日)／開智中学校音楽鑑賞会(11月27日) 2019年度 新潟市音楽鑑賞会(5月27日~31日、6月24日~28日、7月1日、2日)／日の出町立平井中学校音楽鑑賞会(10月23日)／豊島区立西巢鴨中学校鑑賞教室(10月26日)／南山学園中学校芸術鑑賞公演(10月19日)／伊丹市中学校音楽鑑賞会(12月2日~5日)他 2018年度 宇都宮市内高等学校芸術鑑賞公演(6月12日)／岐阜県飛騨市青少年のための芸術体験教室(10月16日16日~18日)／前橋市立鎌倉中学校芸術鑑賞公演(10月18日)他 2017年度 桐蔭学園芸術鑑賞会(5月9日)／所沢市立小手指小学校芸術鑑賞教室(6月16日)／山形市小学校音楽鑑賞教室(7月4日~7日)／宇都宮女子高等学校芸術鑑賞会(7月19日)／足立区立綾瀬小学校芸術鑑賞会(10月11日)他</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>大阪北視覚支援学校(2023年10月10日) 長崎県立盲学校(2024年1月29日) 京都府立丹波支援学校(2018年11月) 山形養護学校(2017年7月) 山形聾学校(2016年7月) 長野県須坂市支援学校(2016年6月) 新潟盲学校(2016年6月) 新潟大学附属特別支援学校(2016年5月) 新潟県立東新潟特別支援学校(2016年5月) 以上の他、多数公演歴あり</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://www.youtube.com/watch?v=6Z9KjH4jmVg">https://www.youtube.com/watch?v=6Z9KjH4jmVg</a></p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>無し</p>
		<p>PW:</p>	<p>無し</p>

別添	なし
----	----

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京混声合唱団】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	子供たちに残したい合唱音楽～心に響く日本の歌、世界の歌			
企画のねらい	すべての音楽の原点である合唱、明治以来歌唱教育は学校教育現場においてもっとも重視されてきた。その流れは現代においても全国の多くの学校で学内合唱コンクールが盛んに行われているとおり脈々と受け継がれている。また「歌」は器楽のように特別な訓練がなくとも皆が平等に楽しめる音楽でもある。本企画では、日本と世界の合唱曲より名曲を厳選し、子供たちの心に永遠に残るよう、プロの合唱団が心を込めて演奏する。			
演目概要・演目選択理由	以上のねらいから、次のような理由により曲目を選択した。 1)世界の合唱曲より、子供のときから知っておくべき名曲(ハレルヤetc.)／2)世代間を超えて歌い継がれるべき唱歌の名作(待ちぼうけ、みかんの花咲く丘etc.)／3)日本の伝統音楽に由来する作品(追分節考)／4)みんなで歌おうコーナーの曲はもとより、全員が参加できる曲(幸せなら手をたたこう)／5)中学校プログラムに含めた「群青」は、東日本大震災で被災した福島県南相馬郡小高中学校の2012年卒業生たちによる詩、音楽教諭小田美樹によって作曲された曲。10年以上を経た今、同世代となった中学生たちには是非とも心に刻み歌い継いでもらいたいという願いをこめて選曲した。／6)「みんなで歌おう(みんなでコーラス)」コーナーで共演曲として提案している「ラララのラー」と「サウンド・オブ・ミュージック」は、児童生徒と東混が一緒に歌い、身体を使いながら楽しめるよう委嘱したオリジナル作品。さらに中学校プログラムに加えた「手紙～拝啓15歳の君へ」は、歌詞が同年代の生徒に向けたメッセージをもつ作品。			
児童・生徒の参加又は体験の形態	以下の1)～4)はワークショップで事前指導し、本公演で全員が参加共演する。また2)～4)はいずれかを学校で選択していただく。 1)校歌全員合唱 2)学校自由選択曲 各校の愛唱歌、文化祭などで取り上げる曲などを自由に選択していただき、合唱団と共に全員合唱する。 3)ラララのラー 鶴見幸代作曲による自然界の水の巡回についてリズムと身体の表現で完成する作品 4)ミュージカル・メドレー「サウンド・オブ・ミュージック」森田花央里編曲 一人ぼっちの羊飼いの、エーデルワイス、ドレミの歌をメドレー形式で歌う作品で子供たちが歌うメロディーを支えるように合唱団が歌い完成する作品。簡単な身体の動きを伴う 以上の2作品は、東混が学校公演のために委嘱したオリジナル作品。子供たちが大人と一緒に声を出して身体でリズムをとっているうちに自然に曲が完成してしまうという誰でも取り組める作品である。 5)校歌と学校自由選択では、生徒の伴奏参加も可。その場合は、ワークショップで事前指導も行う。 以上の他、小学校プログラムに含まれる「幸せなら手をたたこう」も児童が楽しく参加できる曲。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	特に制限なし(体育館に収容できる人数)	
		鑑賞人数目安	特に制限なし(体育館に収容できる人数)	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<b>【小学校】</b> <b>■校歌演奏</b> <b>■第1部 日本の歌</b> 気球に乗ってどこまでも(作曲:平吉毅夫)／せんせい(作曲:三善晃)／待ちぼうけ(作曲:山田耕筰、編曲:林光) <b>■第2部 世界の合唱曲より</b> 山びこ(作曲:オルランド・ディ・ラッソ)／アヴェ・ヴェルム・コルプス(作曲:モーツァルト)／フニクリ、フニクラ(作曲:L.デンツァ) <b>■第3部 日本の伝統芸能を素材とした合唱曲—シアターピース 追分節考</b> (作曲:柴田南雄) <b>■第4部 みんなで歌おう</b> ①歌う前にみんなでウォームアップ ②校歌全員合唱 ③ABCより選択 A.各校選択曲 B.ラララのラー(作曲:鶴見幸代) C.ミュージカル・メドレー「サウンド・オブ・ミュージック」 <b>■第5部 みんなのコーラス となりのトロ</b> (作曲:久石譲)／幸せなら手をたたこう(スペイン民謡)／ジッパ・ディー・ドゥー・ダー(作曲:A.リュウベール) 翼をください(作曲:村井邦彦) <b>【中学校】</b> <b>■校歌演奏</b> <b>■第1部 世界の合唱曲より</b> 「カルミナ・ブラーナ」より～おお運命の女神よ(作曲:C.オルフ)／エコー(作曲:オルランド・ディ・ラッソ)コンダリラ(滝の精)(作曲:S.リーク) <b>■第2部 日本のうた 群青</b> (作曲:小田美樹 編曲:信長貴富)／「親子で歌い継ごう日本の歌百選」より～みかんの花咲く丘(作曲;海沼實・編曲:鷹羽弘晃)／夕焼小焼(作曲:草川信・編曲:三善晃) <b>■第3部 日本の伝統芸能を素材とした合唱曲—シアターピース 追分節考</b> (作曲:柴田南雄) <b>■第4部 みんなでコーラス</b> ①校歌全員合唱 ②ABCより選択 A.各校選択曲 B.ラララのラー(作曲:鶴見幸代) C.ミュージカル・メドレー「サウンド・オブ・ミュージック」 <b>■第5部 楽しいコーラス 手紙～拝啓十五の君へ</b> (作曲:アンジェラ・アキ)／風になりたい(作曲:宮沢和史)／Joyful, Joyful(作曲:L.v.ベートーヴェン 映画「天使にラブソング」より)			

			公演時間	分
<b>出演者</b>	<p>指揮:小林雄太/阿部未来/平川範幸/水戸博之          ピアノ:魚谷絵奈/若月直子/小笠寺美樹          合唱:東京混声合唱団(30名)</p> <p>* 指揮者とピアニストは、公演スケジュールに合わせて上記より1名ずつ出演する。</p>			
<b>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴</b> ※3名程度 ※3行程度/名	<p><b>【指揮者】</b>          水戸博之:北海道出身。東京音楽大学指揮専攻首席卒業、同大学院首席修了。これまでに、札幌交響楽団、仙台フィル、新日本フィル、東京フィル読売日本響他数多くの主要オーケストラを指揮。合唱指揮者としても、東京混声合唱団をはじめ新国立劇場合唱団とも共演を重ね実績を着実に重ねている。          小林雄太:新潟県出身。東京音楽大学で、指揮を広上淳一他に師事、鍵盤楽器奏者として別府アルゲリッチ音楽祭などに出演。愛媛卒業と同時に新日鉄住金文化財団若手指揮者育成制度に合格、指揮研修生として紀尾井ホール室内管、読売日響、東京フィルなどで研鑽を積み下野竜也、高関健の両氏に指導を受ける。2022年より、神奈川フィル副指揮者。プザンソンっく際指揮コンクールファイナリスト。</p>			
<b>本公演          従事予定者数          (1公演あたり)</b> ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 32 名 スタッフ: 1 名 <hr/> 合計: 33 名	<b>運搬</b>	運搬トラック使用無し 積載量: t 車長: m 台数: 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	10:00	10:30~12:00 (リハーサル)	13:30~15:00	10分	15:30	15時30分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期について は、採択決定後に確認し ます。(大幅な変更は認め られません)	6月	7月	8月	9月
	17日	7日	0日	10日
	10月	11月	12月	1月
	14日	5日	10日	8日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出が  
わかる写真)

※採択決定後、図  
面等の提出をお願い  
します。



著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当あり	該当コンテンツ名	演奏曲
	該当事項がある 場合	権利者名	日本音楽著作権協会	許諾確認状況

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 東京混声合唱団 】

ワークショップのねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として「指導」だけでなく、一部演奏(伴奏付、アカペラ)も織り交ぜながら合唱の美しさ、楽しさを体感できるよう指導する。</li> <li>・ボディーパーカッションを取り入れながら、子供たちが自然に楽しく参加できるよう工夫する。</li> <li>・校歌と共演曲では、歌詞とメロディーの関係などをわかりやすく分析して指導する。</li> <li>・以上を通じて、幅広い表現方法の他、声と身体の関係、良い声を出すための姿勢、また伴奏の役割なども含め、合唱音楽について興味を膨らませ、本公演がさらに実り多い効果があげられるよう指導を行う。</li> </ul>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	特に上限は設けない
ワークショップ実施形態及び内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソプラノ、アルト、テノール、バス各1名とピアニスト計5名で実施。</li> <li>・まず1曲(「気球に乗ってどこまでも」、「手のひらを太陽に」等)全員で演奏し、ワークショップへのスムーズな導入をはかる。</li> <li>・合唱の成り立ちを学ぶため、WSのために特別に編曲された「山の上の音楽家」が各自が自己紹介を兼ねて1曲ずつ歌うことにより各声域の声の特徴を知ってもらう。続いて全員のアカペラ(無伴奏)演奏により声域が混ざり合った時の響きを体感してもらう。</li> <li>・本公演の際に共演する曲(校歌と学校選択曲)について、全員合唱の形で指導する。</li> <li>・指導に際して、緊張感をやわらげ声を出しやすくする目的で、事前に簡単なボディーパーカッション(ドレミの歌による)を指導する。</li> <li>・質問コーナーを設け、児童・生徒からきれいな声の出し方、表現方法、その他日ごろから難しいと感じていることなど、様々な質問に回答する。また時間の関係でその場で質問できなかった児童・生徒には、後日先生に質問事項をまとめてメールなどで送っていただき、団員一人一人が丁寧に回答書を書いてメール送付する。</li> <li>・合唱における伴奏の重要性、またピアノも歌と同等の役割を担っていることを説明する。そのため、ピアニストによるソロ演奏も披露する。</li> </ul>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>ワークショップでは、本公演で児童・生徒と共演する校歌や共演選択曲を指導するので、本公演に参加する全児童・生徒が参加することが望ましい。</p>		



※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
本事業への応募理由	【公演団体名 東京混声合唱団】
<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>・東京混声合唱団は創立(1956年)以来、教育プログラムを活動の柱のひとつに掲げ、子供のための芸術鑑賞公演を65年以上にわたって積極的に継続実施してきた。  ・1974年(昭和49年)から開始された文部省主催「子供芸術劇場」以降、現在の文化庁主催「文化芸術による子供育成推進事業」にも毎年出演させていただき、数多くの学校公演を重ねてきた。本事業は、未来を担う子供たちが豊かな感性を育む絶好の機会であり、事業主旨そのものが、もとより東京混声合唱団の活動主旨に合致しているからでもある。  ・とくに現制作団体である一般財団法人合唱音楽振興会が1981年が設立されてからは、同振興会の支援のもと、さらに充実した教育プログラムを展開している。  以上のような実績のもとに、以下のような取り組み姿勢で本事業への積極的参加を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 団員による「ワークショップ委員会」の設置 本公演で行う共演曲の指導方法などを当該年度のWS担当者と話し合うなどして、内容の充実に努めている。また、WS担当者には一定書式の報告書記載を求め、その内容を本公演に向けた練習時に報告してもらう。</li> <li>2) 本公演プログラム検討委員会 制作事務局と団員代表によるプログラム検討会を実施。</li> <li>3) 本公演進行役をWS担当者が務めることにより、子供たちにWSと本公演の連続性をよりわかりやすくするようにしている。</li> <li>4) ふれあいオプション 公演以外に、児童・生徒との交流の場として①「校歌模範演奏の音源贈呈」、②「出演者によるサイン入り色紙贈呈」、③「ふれあい写真撮影会」(児童生徒と出演者全員で写真撮影)を設け、以上3つの中から各校に選択していただくことにしている。</li> <li>5) 公演後、多くの学校から児童・生徒の感想文集が届き、それを団員全員と共有することにより、今後のプログラム内容を含めた実施方法についての検討に活かすことにしている。</li> </ol> <p>以上のように制作団体である一般財団法人合唱音楽振興会および公演団体である東京混声合唱団が協働して本事業に取り組んでいる。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>上記1)から3)の具体例として、下記のような工夫を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・任意選択共演曲のサウンド・オブ・ミュージック・メドレーは、本公演のために編曲委嘱したものが、一昨年、ワークショップ委員会の提案により、楽譜を改訂し、さらに子供たちが事前に学校で復習できるように、練習用音源を作成し、学校に送っている。</li> <li>・ラララのラーについても、同様に練習に供するため映像資料を学校に送っている。また、ワークショップ時には、言葉と動きで指導するだけでなく、全体の流れを具体的に理解できよう、音楽と身体の動きを図解したものを掲示してわかりやすく指導につとめている。</li> </ul> <p>その他の、事業を円滑に実施するための工夫として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ、本公演とも事前に準備していただく内容を事前にメールによって連絡。</li> <li>・ワークショップの際には、本公演についての詳細な打合せを行い、さらに本公演が近づいたら詳細な内容を記したメール連絡とることにより、本公演当日の進行が円滑に行えるようつとめている。</li> </ul> <p>また、視覚支援学校など、特殊な事情を抱える学校については、事前に電話やメールで各校の児童・生徒数や障害の程度など事情を調査し、WSでの指導方法や本公演での進行方法、また演奏の表現方法なども含めた検討、さらに学校の希望も聞くなどして工夫を行っている。</p>

